

**家族と一緒に！**  
**読書ビンゴ**  
 ～君は何冊読めるかな～

**ゆいの森あらかわ**  
 ☎(3891)4349

**会場** 各区立図書館  
 (図書サービスステーション含む)

▶**期日** / 7月21日(水)～8月31日(火) ※景品の引き換えは9月12日(日)まで ▶**内容** / ビンゴカードに書かれたテーマで本を読み、ビンゴを完成させる ▶**対象** / 小学生以下 ▶**費用** / 無料 ▶**申込み** / 不要。ビンゴカードは各区立図書館カウンターで配布します。



**夏休みは図書館へ行こう！**

新型コロナウイルス感染症の状況により、変更になる場合があります。

イベント名	ゆいの森あらかわ ☎(3891)4349	南千住図書館 ☎(3807)9221	尾久図書館 ☎(3800)5821	町屋図書館 ☎(3892)9821	日暮里図書館 ☎(3803)1645
日時	7月21日(水)～31日(土) 午前9時30分～午後4時30分	8月11日(水) 午後3時30分～3時50分	7月31日(土) ①午前10時～10時30分 ②午前11時～11時30分	8月11日(水) ①午後3時15分～3時35分 ②午後3時45分～4時5分	8月11日(水) 午後3時30分～4時
場所	—	地下1階 視聴覚室	1階 みんなのひろば	2階 おはなしのへや	地下1階 おはなしのへや
申込み	①小学生 ②15人 ③7月21日(水)午前9時30分から申込順 ④1階えほん館カウンター	①3歳～小学生 未就学児は保護者同伴(子ども1人につき同伴1人まで) ②15組(最大30人) ③7月21日(水)午前9時30分から申込順 ④電話または2階カウンター	①4歳～小学生 (未就学児は保護者同伴) ②各回6組 ③7月21日(水)午前9時30分から申込順 ④電話または1階カウンター	①3歳～小学生 (未就学児は保護者同伴) ②各回4組 ③当日の申込順 ④午前9時30分から2階カウンターで整理券配布	①小学生 ②15人 ③当日午後3時15分から申込順 ④地下1階カウンター



**夏休み子ども博物館**

7月21日(水)午前8時30分から受付開始  
 新型コロナウイルス感染症の状況により、変更になる場合があります。

**申込み・問い合わせ** 荒川ふるさと文化館☎(3807)9234  
**会場** 荒川ふるさと文化館地下1階視聴覚室

**勾玉作りにチャレンジ**

縄文時代の暮らしを勾玉作りから体験しよう。

▶**日時** / 8月17日(火)①午前9時～11時②午後1時～3時 ▶**対象** / 区内在住・在学の小学3年生～中学生 ※親子で参加出来ます。 ▶**定員** / 各回10人(申込順) ▶**費用** / 500円(材料費)

**あらかわ職人道場**

職人さんに1日弟子入りし、伝統工芸の技を体験。

① **マイ箸を作ろう！(指物)**  
 ▶**日時** / 8月22日(日)①午前10時～11時30分②午後1時30分～3時 ▶**対象** / 区内在住・在学の小・中学生 ▶**定員** / 各回4人(申込順) ▶**費用** / 500円(材料費)

**リトル学芸員**

学芸員になり、古い資料を調べよう！

▶**日時** / 8月11日(水)①午前10時～11時30分②午後1時～2時 ▶**対象** / 区内在住・在学の小・中学生 ▶**定員** / 各回5人(申込順) ▶**費用** / 無料

**俳句を作ろう**

「五・七・五」のリズムに乗って、俳句を作ろう。

▶**日時** / 8月20日(金)午前9時30分～11時30分 ▶**対象** / 区内在住・在学の小・中学生 ▶**定員** / 10人(申込順) ▶**費用** / 無料

② **パッチンどめを作ろう！(つまみかんざし)**  
 ▶**日時** / 8月24日(火)①午前10時～11時30分②午後1時30分～3時 ▶**対象** / 区内在住・在学の小学3年生～中学生 ▶**定員** / 各回4人(申込順) ▶**費用** / 500円(材料費)



**Topics**

**三日小が「こども宇宙プロジェクト2021」に参加します**

「こども宇宙プロジェクト2021」は、国際宇宙ステーション(ISS)が完成した2011年からスタートしました。これは、子どもたちが書いたメッセージや笑顔の写真などをロケットに乗せてISSに打ち上げ、宇宙飛行士とともに数か月間、ISS内でながら宇宙旅行をするという企画です。

第三日暮里小学校では、プロジェクトに参加するために、4月に全校児童によるメッセージカードの作成とクラスごとの写真撮影を行いました。撮影した写真を使った「モザイクアート」が12月上旬にロケットで宇宙に打ち上げられ、子どもたちの写真とメッセージが宇宙旅行に旅立ちます。

作成したメッセージを掲げる児童たち

国際宇宙ステーション(ISS)写真提供 NASA

**あらかわ 今昔ものがたり**  
 日 [あらかわの歴史と伝説]

その131 **江川堀の名残り荒木田新橋**  
 ～尾竹橋通りに残された謎の石柱～

**謎の石柱！** これは町屋の尾竹橋通り。荒木田の交差点から北、約150mの所に石柱が立っている。何だか分かるかい？ 昔、ここには右から左に向かって「江川堀」が流れていて、「荒木田新橋」が架かっていたんだ。これは親柱という石柱で、ここに橋があったことを教えてくれる証拠なんだよ。

**こんな所に川があったの？** どうして、こんな所に、川が流れていたのかな？

あらかわに農業がとても盛んな時代があったこと、みんなも知っているよね。米・麦だけでなく、この辺りの名産荒木田大根、三河島菜・尾久大根・汐入大根・三河島枝豆・谷中しょうがなど、大正時代頃まではいろんな作物を作っていたんだよ。じゃあ、おいしい作物を作るには、どんなことが大切かな？ なにに「土」と「水」じゃないかって？ よく知っているね。大昔、あらかわの周囲を流れる隅田川(昔の荒川)が何度も氾濫し、作物が良く育つ土が流れてき

**野尻さん**

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

て、肥沃な土地を作りあげたんだってさ。そして、田畑に十分な水が行き届くようにと農業用水が整備されていったんだ。日暮里の「音無川」、尾久の「八幡堀」、「江川堀」など小さな川が、農業用水としてあちこちに流れていたんだよ。そして「江川堀」は、下尾久村(今の東尾久1～7丁目付近)から町屋村(今の町屋1～8丁目、荒川6・7丁目付近)を通り隅田川へと注ぐ小さな川で、一部は二つの村の境界にもなっていたんだ。コイやフナ、カエルやカニもすんでいたそうだよ。

**荒木田新橋の架橋** そんなあらかわの風景が大きく変わったのが、大正12年(1923)の関東大震災の後。農地が急に宅地になり、農村から町へと姿を大きく変えたんだ。震災復興のための大きな道路工事も進められた。尾竹橋通りもその一つで、昭和7年(1932)に開通した。その時、道路と交差する江川堀に架けられたのが「荒木田新橋」なんだ。その後、他の農業用水と同じく江川堀もたで覆われ道路として利用されるようになったんだ。でもね、橋の親柱が大切に残され、江川堀の歴史を今に伝えているよ。今度、江川堀の跡を探検してみてね。

